

平成24年行政事業レビューシート

(内閣府)

<b>事業名</b>	鉄軌道等導入可能性検討基礎調査		<b>担当部局</b>	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	企画担当参事官室		馬場 竹次郎		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	3.7 沖縄振興計画の推進に関する調査				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		<b>関係する計画、通知等</b>	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄の交通体系については、自動車への依存度が高く、渋滞による経済的損失など、様々な課題を抱えているため、新たな公共交通システム導入の可能性を検討するため、幅広く調査を行い、客観的なデータに基づき検討を行う。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	22年度調査で設定した仮定のモデルルートを前提とし、需要予測の見直し、総事業費・事業採算性のシミュレーション、整備効果の検討を実施した上で、新たな公共交通システム検討のための課題整理等を行う。  事業主体:内閣府							
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	40	-	-	
		補正予算	-	-	0	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
	計	-	-	40	-	-		
	執行額	-	-	40	-	-		
執行率(%)	-	-	100	-	-			
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	新たな公共交通システムの導入に関する課題の整理を目標としているため、定量的に成果目標を示すことは困難			21年度	22年度	23年度	-	
			成果実績	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	新たな公共交通システムについて、総事業費及び事業採算性のシミュレーション等の調査を実施			21年度	22年度	23年度	調査の実施	
			活動実績(当初見込み)	-	-	-	(調査の実施)	
				-	-	-		
<b>単位当たりコスト</b>	40,320,000 (円/調査)		算出根拠	執行額(40,320,000円) / 総事業費、事業採算性のシミュレーション等の調査の実施(1)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計	0	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	沖縄における鉄軌道をはじめとする新たな公共交通システムの課題検討は、沖縄振興の重要なポイントとして位置付けられており、国としてしっかりと取り組むべきである。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争で業者を選定した。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	沖縄県との連携のもと、適切に調査を実施した。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本調査では、仮定のモデルルートを前提とした総事業費、事業採算性等をシミュレーションし、課題の整理を行った。調査期間中は、幾度も打ち合わせを行いながら、必要な調査項目を全て実施した。24年度以降は「鉄軌道導入課題検討基礎調査」として、23年度までの調査で浮かび上がった課題の調査検討等を行うとともに、アンケートやタウンミーティングにより、新たな公共交通システムに対する県民意識の把握等に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		今後の関係施策の推進に資するよう、事業の成果について適切に検証すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新0021

内閣府  
40百万円

〔事業の企画・立案等〕



〔企画競争・委託〕

A. パシフィックコ  
ンサルタンツ(株)  
40百万円

〔新たな公共交通システム  
の総事業費、事業採算性  
等の検討〕

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A. パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	委託業者事務局の人件費	16			
直接経費	旅費、印刷製本費、謝金等	2			
諸経費	一般管理費、消費税等	25			
計		43	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ(株)	新たな公共交通システム導入可能性のため、総事業費、事業採算性、整備効果等の検討	40	3(企画競争)	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					